

©Sergio Caminata

J.S.バッハ
——
バロック・ヴァイオリンの神髄

BACH

平崎真弓 &
ロレンツォ・ギエルミ
デュオ・リサイタル
「バロック・ヴァイオリン」
「チェンバロ」

鮮やかで、息を呑む
平崎のヴァイオリン
思いもかけぬ
美しさが 随所に…

©Harald Hoffmann

Program

J.S.バッハ: ヴァイオリンとチェンバロのためのソナタ 第2番 イ長調 BWV1015

J.S.Bach: Sonata for Violin and Harpsichord in A major BWV 1015

J.S.バッハ: トッカータ ホ短調 BWV914 (チェンバロ・ソロ)

J.S.Bach: Toccata in E minor BWV 914

バッハと同時代に大活躍した名ヴァイオリニスト、ピゼンデルの作品

J.G.ピゼンデル: ヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ ニ長調

Johann Georg Pisendel(1687-1755): Sonata for Violin and basso continuo in D major

J.S.バッハ: 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第1番 ト短調 BWV1001

J.S. Bach: Sonata for solo Violin in G minor BWV 1001

J.S.バッハ: ヴァイオリンとチェンバロのためのソナタ 第6番 ト長調 BWV1019

J.S.Bach: Sonata for Violin and Harpsichord in G major BWV 1019

2020.11/14(土) 2:00PM 開演 (1:15PM 開場) A ¥4,000 B ¥3,000 (税込/全席指定)

兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22

阪急西宮北口駅南改札口すぐ JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

発売日

10/9
(金)

芸術文化センターチケットオフィス

☎ 0798-68-0255

(10:00AM-5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日)

<http://www.gcenter-hyogo.jp>

チケットご購入のお客様へお願い

新型コロナウイルス感染予防対策にご協力をお願いします。

※芸術文化センターでの販売は、来場者情報把握のため、先行予約会員に登録いただける方に限定させていただきます。チケットのご購入はお一人様2枚までとさせていただきます。

※入場者数を制限して販売いたします。

※37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。

※マスクを着用されない方はご入場いただけません。

※感染の再拡大等により、公演の中止や、出演者、公演内容、座席配置等が変更となる場合がございます。

ご来場前にウェブサイト掲載の(当センターをご利用のお客様へ)をご確認ください▶



※窓口での販売(残席がある場合)は 10/10(土)より
※未就学児童のご入場はご遠慮ください。

主催: 兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

光と色彩が織りなす、真のバッハを呼び覚ます

平崎真弓とロレンツォ・ギエルミ。多方面で活躍する二人の息のあった追真の創造——その音楽は、生命力にあふれ、この上ない喜びを与えてくれます。とりわけ注目していただきたいのは、J.S.バッハがケーテン時代(1717-1723)に有名な無伴奏ヴァイオリンや、チェロのための組曲などとともに生み出した「ヴァイオリンとチェンバロのためのソナタ」。今回のコンサートでは、バッハとも親交が深かった当時の大ヴァイオリニスト、ピゼンデルの楽曲も織り交ぜお贈りします。後期バロック音楽の真髓とも言うべき伸縮する立体感と、ピリオド楽器ならではの深いニュアンス、デリケートな響きの愉悅を存分にお楽しみください。

プログラムに寄せて～ヨハン・ゲオルグ・ピゼンデル～

J.S.バッハと同時代に大活躍した名ヴァイオリニスト、作曲家、ドレスデンの宮廷楽団(Hofkapelle Dresden)のコンサート・マスター、そしてそれだけに留まらず編曲家で写譜師でもあったヨハン・ゲオルグ・ピゼンデル。ピゼンデルのヴァイオリニストとしての腕前、そして音楽家としての名声と彼への敬意が飛び抜けていたことが、当時ピゼンデルと親交の深かったアントニオ・ヴィヴァルディ、ゲオルク・フィリップ・テレマン、J.S.バッハ、そしてピゼンデルの弟子でもあったヨハン・ヨアヒム・クヴァンツからも伺われます。テレマン、ピゼンデル、バッハは当時ライブツィヒで伝統あるコレギウム・ムジクムでの活動も精力的に行っていたことから、活動の道なりに大変興味深い接点が見出されます。この度プログラムに選んだヴァイオリン・ソナタニ長調はピゼンデルの同じくニ長調のヴァイオリン協奏曲(Jung I.7)と骨組みの第1、第3楽章が関連されており、ソナタの枠を超えたイタリアン・コンチェルトの様にダイナミックで躍動感あふれる超絶技巧や各楽章に表現力とキャラクターの沢山詰まった、ヴァイオリニストとして大変に弾きがいのある一曲です。ドイツを離れることなくイタリアの作曲法を極めたバッハと幼少時代からドイツでイタリア音楽家の元で学び、イタリア本場でも当時最新の技術や音楽のニュアンスを獲得しその奥義をドイツで伝授していったピゼンデル。今回のプログラムでバッハとピゼンデルの音楽から彼らを繋ぐ要素、そして彼らの伝えたかったそれぞれの言葉を皆様と発見し共有できましたら大変嬉しく存じます。

平崎真弓

©Harald Hoffmann



©Harald Hoffmann

平崎真弓 [バロック・ヴァイオリン]

Mayumi Hirasaki, Baroque Violin

東京藝術大学音楽学部在学中の2001年秋よりドイツ・ニュルンベルク音楽大学に留学。元ウィーン・フィルハーモニーのコンサートマスター、ダニエル・ゲーデ教授に師事。2005年ディプロムを最優秀で取得後、2007年に同音楽院マイスタークラスにてドイツ国家演奏資格を取得。2006年第15回J.S.バッハ国際コンクール(ライブツィヒ)においてモダン・ヴァイオリンで第2位を受賞。2007年秋よりミュンヘン国立音楽大学にてバロック・ヴァイオリンをマリー・ウティガー教授に師事、2008年10月に審査員の満場一致でマイスター試験に合格。同年、ブルージュ国際古楽コンクール、バロック・ヴァイオリンで第3位を受賞。2011年よりコンチェルト・ケルンのコンサートミストレスとして、バロックの多彩なプログラムで行なうほか、欧州の著名なオーケストラ、アンサンブルにソリスト、コンミスとしても活躍。2014年、ドイツ・グラモフォンよりジュリアーノ・カルミニョーラと共演のCDがリリース。2017年よりザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学バロック・ヴァイオリン科の教授に就任。ケルン在住。



ロレンツォ・ギエルミ [チェンバロ]

Lorenzo Ghielmi, Harpsichord

イタリアを代表するオルガニスト、チェンバリスト、指揮者で、ルネサンスとバロック音楽の研究家。現在、ミラノの聖シンプリチアーノ教会(1991年アーレント製作)のオルガニストで、ミラノ国際音楽アカデミーの古楽研究所でオルガン、チェンバロとして室内楽の教鞭を執っているほか、2006年からは、バーゼルのスコラ・カントールムの教授もつとめる。世界中の著名なオルガン・コンクールの審査員、またマイスタークラスの講師として招聘されている。イタリアの古楽アンサンブル、イル・ジャルディーノ・アルモニコの初期メンバーとして、レコーディングやライブに参加。2005年には、自身の古楽アンサンブル「ラ・ディヴィナ・アルモニア」を結成。ヘンデルのオルガン協奏曲第1集、第2集(両方ともディアバゾン賞受賞)などの録音のほか、数多くのCDをリリース。東京カテドラル聖マリア大聖堂のオルガン建設のための芸術コンサルタントを務めた様子は、2004年NHKハイビジョン特集「パイプオルガン誕生」で紹介された。夭折した17世紀のオルガニストで作曲家ニコラウス・ブルーンスの本を書いている。



<http://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員へのご登録はこちら



便利なアクセス!!

大阪梅田からも神戸三宮からも
ホールまで15分
(阪急電車特急乗車の場合)

◎ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎ JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス

